

サル痘ってどんな病気？

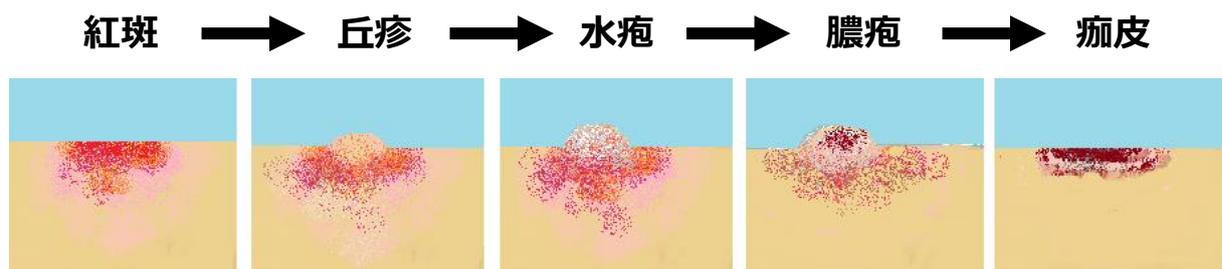
どんな病気？

「サル痘ウイルス」によって感染する病気です。これまでアフリカを中心とした一部の地域で見られる病気でしたが、2022年5月以降、欧州、アメリカ地域を中心とした世界的な流行となり、現在89以上の国・地域で27,800人以上の感染が確認されています。発熱、リンパ節の腫れ、発疹（ほっしん）が主な症状で、多くは2～4週間で自然に回復します。

どんな症状がでるの？

潜伏期間5～21日（通常7～14日）の後、発熱、頭痛、リンパ節の腫れ、筋肉痛などが1～5日続き、その後、発疹が出現します。発疹は水ぶくれ（水疱）状になり、最後にはかさぶた（痂皮）になってはがれ落ちます。発疹は体だけではなく、口の中や、陰部、目（角膜、結膜）にもできることがあります。

【発疹の時間経過】



どうやってうつるの？

主に、感染した人や動物の皮膚の病変、体液、血液に触れた場合（性的接触を含む）や、患者と近くで対面し、長時間の飛沫（ひまつ）にさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合などに感染します。

国外の感染者をみると、患者の多くは成人男性であり、そのほとんどが男性間で性交渉を行う人（MSM; Men who have sex with men）となります。女性や子供での感染も、多くはありませんが、報告されています。

治療・予防法は？

多くの場合は2～4週間で自然に治りますが、痂皮がはがれ落ちてなくなるまで感染力があるとされています。天然痘ワクチンが、ウイルスにさらされた後の発症の予防や重症化予防に有効とされています。

サル痘を疑う症状があった場合はどうすればいいの？

サル痘を疑う症状が見られた場合、最寄りの医療機関に相談してください。

受診の際には、周りの人にうつさないように、飛沫が飛ばないようにサージカルマスクを着用し、水疱を含む皮膚病変はガーゼなどで覆うなどの対策をした上で受診しましょう。